

# みっ マリヤへの御告げ

ルカ 1 : 26 - 56



1. 御使<sup>みつか</sup>いがマリヤに言<sup>い</sup>ったことにあうように、( ) にことばを入れてね。【31~32節】

あなたはみごもって、( ) を産<sup>う</sup>みます。名<sup>な</sup>を( ) とつけなさい。その子<sup>こ</sup>はすぐれた者<sup>もの</sup>となり、( ) と呼<sup>よ</sup>ばれます。

2. 次の文<sup>ぶん</sup>が聖書<sup>せいしょ</sup>の内容<sup>ないよう</sup>にあうように、正<sup>ほう</sup>しい方<sup>かこ</sup>を○で囲<sup>かこ</sup>んでね。

マリヤはまだ、( 宿<sup>しゆくだい</sup>題<sup>だい</sup> ・ 結<sup>けっこん</sup>婚<sup>こん</sup> ) をしていませんでしたが、赤<sup>あか</sup>ちゃんをみごもりました。神<sup>かみ</sup>さまに( 不<sup>ふ</sup>可<sup>か</sup>能<sup>のう</sup>な事<sup>こと</sup> ・ ホクロ ) はひとつもありません。イエスさまは、( 聖<sup>せい</sup>霊<sup>れい</sup>さま ・ ガブリエル ) のチカラで生まれました。だからイエスさまは、( おへそ ・ 罪<sup>つみ</sup> ) をもっていません。このように、イエスさまは本<sup>ほん</sup>当<sup>とう</sup>に、( 芸<sup>げい</sup>能<sup>のう</sup>人<sup>じん</sup> ・ 神<sup>かみ</sup>さま ) の子<sup>こ</sup>どもなのです。

3. マリヤは「私<sup>しゆ</sup>は主<sup>しゆ</sup>のはしためです。あなたのおことばどおりこの身<sup>み</sup>になりますように」(38節)と言<sup>い</sup>いました。あなた<sup>あなた</sup>は、マリヤの事<sup>こと</sup>を、ど<sup>どん</sup>な信<sup>しん</sup>仰<sup>こう</sup>をもつ人<sup>ひと</sup>だと思<sup>おも</sup>いますか？

4. 罪<sup>つみ</sup>をもたないイエスさまが、私<sup>み</sup>たちの罪<sup>み</sup>の身<sup>み</sup>代<sup>が</sup>わりとな<sup>な</sup>って、十<sup>じゅう</sup>字<sup>じ</sup>架<sup>か</sup>にかか<sup>か</sup>って死<sup>し</sup>んでくださいました(ⅠⅠコリント5:21)。その事<sup>こと</sup>について、あなた<sup>あなた</sup>が思<sup>おも</sup>う事<sup>こと</sup>を何<sup>なに</sup>でも書<sup>か</sup>いて、教<sup>きょう</sup>会<sup>かい</sup>の先<sup>せん</sup>生<sup>せい</sup>やお友<sup>とも</sup>だちと話<sup>は</sup>し合<sup>あ</sup>いませう。